

# Atsugi

Public Relations Paper Atsugi City

広報あつぎ

2023

6.1

No.1400

index

- 2 医療費が18歳まで無料に
- 3 厚木市議会議員選挙
- 4-5 特集 地元食材を地元で消費  
厚木の農産物を食卓に
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

## それでも、牛と

午後の光が差し込む牛舎で、牛たちが干し草を食んでいます。食べやすいように草を集めているのは小野晴巳さん(64・荻野)。毎日朝・夕の決まった時間に乳を搾り、餌をやり、牛舎を掃除する。牛と共に暮らす日常を、45年にわたり続けてきました。

市内では8軒の酪農家が生乳を出荷しています。しかし現在、酪農家の経営は全国的に厳しい状況に置かれています。コロナ禍やウクライナへの軍事侵攻などの影響で、飼料が以前の2倍近くまで高騰。光熱水費の値上がりも追い打ちをかけています。小野さんは「苦しくても、牛は生き物だから、世話をやめるわけにはいかない」と、複雑な面持ちで牛たちを見つめます。

牛乳や乳製品は、私たちの食卓に欠かせない存在です。牛乳を取り入れて酪農家を応援しましょう。

☎農業政策課 225-28001

### 6月は牛乳月間

牛乳や酪農への関心を高めるため定められました。市内でも、牛乳をPRするキャンペーンを実施します。

■市民朝市で酪農家応援キャンペーン

日時 6月18日 6時～  
場所 文化会館駐車場  
内容 乳製品の販売、啓発物品の配布

愛TV 6/1～



Zoom Up

# 10月から子どもの医療費助成の対象年齢を拡大 医療費が18歳まで無料に

中学生までを対象に実施してきた医療費無償化を、10月から18歳までに拡大します。新たに制度の対象となる方には、医療証を受け取るための申請書を6月中旬に送付。申請すると既に対象の方と併せ、9月下旬に新しい医療証を郵送します。これからも、子どもたちと子育て世帯を支えていきます。

厚木市での子どもの医療費の無償化は、1995年に始まりました。以降、対象の年齢を順次拡大し、2011年から中学生までを対象にしています。市では、さらなる子育て世帯の負担軽減や子育て環境の充実に向け、対象年齢の拡大の検討を進めてきました。

## 9月下旬に新しい医療証を送付

対象年齢の拡大に向けて、市では昨年10月に保護者3000人を対象にアンケートを実施しました。約半数から回答があり、75%以上の方が対象年齢

の拡大を支持。12月のパブリックコメントでも「高校生年齢までの対象拡大をうれしく思う」「もつと早く実施してほしい」といった意見が寄せられていました。市では、これらの結果を踏まえ対象年齢拡大の方針を決定。市議会での議決を経て、10月から開始が決まりました。

10月から新たに無償化の対象となる子どもは約5500人。市が6月中旬に送る申請書などを提出すると、医療機関で提示するための医療証を9月下旬に郵送します（左欄参照）。中学生までの子どもがいて、既に制度の対象

となっている方には、有効期限を延ばした医療証を同時期に送ります。

## さらに子育てしやすいまちに

市が活力あるまちで在り続けるには、将来を担う子育て世帯が厚木を選び、住んでもらうことが必要です。市では、子どもの医療費の無償化だけでなく、紙おむつ・お尻拭きの支給などで子育て世帯を応援。これからも、誰もが子どもを育てやすいまちをつくっていきます。

子育て給付課 ☎225-12230



子どもたちが毎日を笑顔で過ごせるように 愛TV 6/1~

## 子どもの医療費助成 18歳まで拡大の概要

### 【対象年齢】

18歳（誕生日以降最初の3月31日）まで

【所得制限】なし 【一部自己負担】なし

【助成対象】健康保険適用医療費の自己負担分

### 【申請手続き】

- ◆既に助成を受けている方
  - ▶▶▶なし（有効期間を18歳までに延長した医療証を9月下旬に郵送。10月以降、現在お持ちの医療証は廃棄してください）



詳細は市HPIに掲載

- ◆新たに対象となる方
  - ▶▶▶あり（下欄参照）

### 【新たに対象となる方】医療証の申請方法

助成を受けるには、受診した医療機関で医療証と健康保険証の提示が必要です。10月以降対象となる方には、市が6月中旬に申請書などを郵送します。

#### ①申請書の提出

申請書・子どもの健康保険証の写しを、直接または郵送で子育て給付課へ。

#### ②書類の審査

#### ③医療証の送付

9月下旬に、10月以降使える医療証（右）を郵送します。

#### ④10月以降に新しい医療証を使用

### 新しい医療証のイメージ

※1「子」医療証	
負担者番号	8 1 1 4 0 1 3 9
受給者番号	1 2 3 4 5 6 7
対象住所	〒240-0018 中野3丁目〇番〇号
氏名	太郎 太郎
生年月日	令和〇年〇月〇日
有効期限	〇年〇月〇日 ※2 から 〇年〇月〇日まで
一部負担金	なし
この受給者は、厚木市子どもの医療費助成に関する条例により、医療費の一部を厚木市が助成する者であることを証明する。	
神奈川県 厚木市長 署名 蓋印	
交付年月日	令和〇年〇月〇日

※1「子」の表記を記載

※2 対象年齢拡大後の日付を記載

## 新型コロナウイルス ワクチン接種情報

接種の対象で希望する方は予約をお願いします。

※情報は5月17日時点



### ■接種対象（令和5年春開始接種）

初回接種（1・2回目）を終え、最終接種日から3カ月経過した①65歳以上②基礎疾患がある、または重症化リスクが高いと医師が認める5~64歳③医療従事者、高齢者・障害者施設の従事者—のいずれかに該当する方（②③は接種券の申請が必要。昨年度申請した方は不要）

### ■接種場所

《個別》市内約55医療機関 《集団》保健福祉センター

### ■接種期間（1回接種）

《個別》8月31日まで 《集団》6月30日まで（週3日実施）

### ■ワクチンの種類

《個別》ファイザーBA.1・4-5 《集団》モデルナBA.4-5  
モデルナBA.4-5

### ■予約方法

接種券に同封するチラシに記載



個別接種実施医療機関



基礎疾患・医療従事者などの接種券申請



予約サイト

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666





### 投票できる人

2005年7月10日までに生まれ、選挙人名簿に登録されている方。

区分	投票の可否
市外から転入 2023年4月1日までに転入手続きをした方	可
市内で転居 23年6月15日までに転居手続きをした方	可 (新住所地で)
	可 (旧住所地で)
市外へ転出 23年7月9日までに市外に転出した方	否 ただし7月3~9日に転出する方は投票できる場合あり

### 投票所

投票所入場券や市HPに記載。当日の投票は、指定された投票所をお願いします。

#### 知っていますか？それぞれに合った投票方法

##### 子どもと一緒に

18歳未満の子どもであれば、一緒に投票所に入場できます。

##### 代理投票

身体が不自由な方や自書できない方は、係員が代筆します。



### 投票所入場券

投票所入場券は、7月3日ごろまでに世帯主に郵送します。封筒内に同世帯分(最多8人)が入っています。氏名を確認して、投票所へお持ちください。

紛失などで手元にない場合も、選挙人名簿に登録されていれば投票できます。投票所で係員に申し出てください。

### 不在者投票

選挙の当日、仕事や旅行で市外に滞在中、病気や出産で入院中などの場合は、次の方法で不在者投票ができます。

#### 市外滞在中の方

本人が、市選挙管理委員会へ投票用紙を請求し、交付を受けてから滞在地で投票してください。

#### 指定病院などに入院(入所)中の方

県選挙管理委員会が指定した病院などに入院(入所)中の方は、病院などで投票できます。詳しくは各施設に確認してください。

### 開票

7月9日、20時50分～。荻野運動公園体育館

### 期日前投票

投票日に投票所に行けない方は、期日前投票ができます。投票所入場券裏面の期日前投票用請求書(兼宣誓書)に必要な事項を書き、期日前投票所にお持ちください。投票日の混雑緩和のため、積極的な利用をお願いします。

会場	期間	時間
市役所本庁舎	7月 3~8日	8時30分~20時
依知北公民館		
荻野運動公園体育館		9~20時
南毛利公民館		
厚木シティプラザ		
相川公民館	5日	
緑ヶ丘公民館	6日	
玉川公民館	7日	

### 選挙公報

7月5日の新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日経・毎日・読売の各朝刊)に折り込む他、7月4日ごろから公民館などの公共施設、本厚木・愛甲石田駅、郵便局、農協支所、スーパーマーケットなどで配布します(市HPにも掲載)。

### 郵便などによる不在者投票

身体に重度の障害があり、下表に該当する方は、郵便投票証明書の交付を受けて自宅などで投票できます。

#### ①郵便等投票証明書の交付申請

本人または代理の方が、身体障害者手帳、戦傷病者手帳または介護保険の被保険者証のいずれかを持ち、選挙管理委員会へ申請書を受け取り提出(来庁が難しい場合は要相談)

#### ②投票用紙を請求

1~3日で発行される郵便等投票証明書(即日発行不可)を添えて、7月5日(必着)までに選挙管理委員会へ申請

#### ③郵便投票

自宅に郵送で届いた投票用紙に候補者名などを書き、〒243-8511選挙管理委員会へ郵送

障がいなどの区分	障がいなどの程度	
身体障害者手帳	両下肢・体幹・移動機能	1級または2級
	心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸	1級または3級
	免疫・肝臓	1~3級
戦傷病者手帳	両下肢・体幹	特別項症~第2項症
	心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓	特別項症~第3項症
介護保険の被保険者証	要介護状態区分	要介護5



特集 地元食材を地元で消費



# 厚木の農産物を

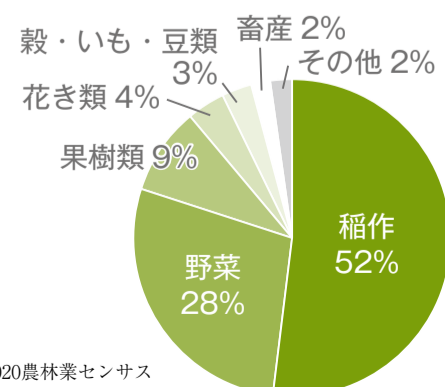
# 食卓に

皆さんの食卓に並ぶ野菜や肉などは、どこで作られた物ですか。厚木にはこの土地で育った農産物が多くあります。特集では、養豚・トマト農家の方に農産物や地産地消への思いなど聞きました。

問 農業政策課 ☎ 225-2801



市内ではどんな農産物が作られている？



出典：2020農林業センサス 農産物販売全額1位の部門別農家数

## 愛情のこもった豚肉

養豚業 白井農産

を配っています。

半年後、農場で愛情を受けて育った豚は、酒井にある神奈川食肉センターへと運ばれていきます。成次さんは「出荷を迎える豚は、その命を私たちに返してくれる」と、感謝の気持ちを含めて送り出しています。

### 厚木の豚を地元の方に

芽生えた新緑が色を増す季節。飯山にある白井農産では、生まれたばかりの子豚が元気に母親の乳を飲み、その姿を従業員たちが優しい表情で見守っています。「ここで働く人はみんな動物が好き。生まれてから農場を出るまで、ずっと愛情を持って接している」。そう話すのは白井欽一さん（60・飯山）。両親の代から60年続く養豚場を営み、15人の従業員たちと約5000頭の豚を育てています。

### 子豚から育てる

40年ほど前の厚木には約300軒の養豚場がありました。しかし、時代とともに規模は縮小し、今では3軒が養豚業を営ん



独自で設計・配合した餌を与える

## 直売だからこそ味わえる旬の味覚

トマト農家 神崎 浩貴さん(33・温水)



トマトの生育を確認する神崎さん

青空の下、暖かい空気が立ち込めるハウスの中に入ると、大

いと病気にもなりやすい」と、新しい道具を使ったり、栽培方

る機会を増やそうと、昨年8月から地場産のジャガイモやニン





子豚を優しく見つめる成次さん



寄り添い合う母豚と子豚



穏やかな表情で乳を飲む生後間もない子豚たち

でいます。その一つ臼井農産では、市内で最も多く豚を飼育し、月に約700頭の子豚が生まれます。飼育などを担当する臼井成次さん(37・飯山)は「子豚は母豚の乳しか飲まない。健康に育てるためには、初めの時期が肝心」と話します。生まれたばかりの子豚に手を添え、わが子のように寄り添います。出生時の1・5キから半年で120キほどまで成長する豚を一頭一頭確認し、日頃の健康管理に気

ブランドに認定され、市の名産品の一つになりました。臼井農産の豚肉は、大型農産物直売所の「夢未市」などに納品されています。11年には、厚木育ちの豚肉を地元の人たちに食べてもらうため、上落合に自社の直売所をオープン。地域の方が手に取りやすくなりました。直売所では、厚木を代表するグルメ「とん漬け」も販売。味付けに欠かせないみそは、農場で栽培している大豆と手作り



## 「厚木のとん漬」が100年フードに認定

とん漬けは、産地直送の豚肉を特製のみそに漬け込んだ江戸時代から続く厚木の名産品です。

### ■100年フードとは？

日本の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた100年続く食文化として文化庁が認定。



市HPはこちら

☎観光振興課 ☎225-2820

## 養豚の歴史

日本の養豚は、江戸時代に始まりました。食肉文化が広まると、港を持つ神奈川県では養豚業が盛んに。市内にも多くの養豚場がありました。



1980年代の市内の養豚場



豚の飼育状況などの話をする欽一さん(右)

は、これからも豚たちに愛情を注ぎ続けます。

大きく育った苗の香りがふわっと漂ってきます。傷が付かないようにつり上げられたトマトは、まるで宙に浮いているかのよう。神崎浩貴さんは、赤く色付いた実の出来を一つ一つ丁寧に確かめていきます。「農業は大変だけど、だんだん作物が成長していく楽しさの方が勝つ」と笑顔で汗を拭きます。

### 完熟トマトを店頭へ

神崎さんは、代々続くトマト農家の5代目。農作業に汗を流す父の姿を見て育ち、幼い頃から作業を手伝っていました。大学ではプログラミングを学び、一度は他の道に進むことも考えていたという神崎さん。しかし「いずれは農業を継ぐつもりだった。早く始めた方が技術が身に付く」と決心し、卒業後1年間の研修を経て就農しました。ハウスでは、大玉・中玉合わせて約1000本の苗を栽培しています。「天候に合わせた温度管理が難しく、うまくできな

法を少し変えたりと工夫を凝らしています。神崎さんが作っているのは、かながわブランドに登録される「厚木トマト」。甘みと酸味のバランスが良く、しつかりとした食感が特徴です。朝に収穫し、自宅での直売の他、100袋ほどを夢未市に納めています。地方から輸送されてくる品は、店頭に並ぶ前に赤くなるよう完熟を迎える前に収穫されます。一方、直売は採れたてで完熟のトマトが味わえるのが魅力です。神崎さんは「同じトマトを食べるなら、食べ頃の一番おいしい状態を味わってほしい」と力を込めます。

### 地場産を食べるきっかけに

神崎さんは、農業協同組合の30・40代の農家が集う青壮年部に所属しています。仲間たちと共にアイデアを出し合いながら、厚木産の農産物をPRする活動にも力を入れています。神崎さんたちは、地元食材を食べ



市内産の新鮮・安心な農産物を

## 厚木市民朝市 夕焼け市

市内産の農畜産物や加工食品などを販売し、季節に応じた特別市も開催しています。

☎農業政策課 ☎225-2801

### ■厚木市民朝市

《日時》日曜 6~7時  
《場所》文化会館駐車場

### ■夕焼け市 (11月1日まで)

《日時》水曜 17~18時  
《場所》荻野運動公園



## 地産地消の意識を高める

東京農業大学 農学部 教授  
高畑 健さん

地産地消は、生産者の顔が見え鮮度の高い農産物が手に入ったり、生産者側も理想の価格で直売できたりと、両者にメリットがあります。また、地域活性化・食育のツールや、輸送時間の短縮、規格が合わず市場に出せない生産物も直売できるなど、エコやSDGsの視点からも、この先必要な取り組みです。

厚木市は、都市もあれば自然も豊かで恵まれた立地です。水田や畑なども多く、農業の基盤はすでに整っています。農産物の魅力を広く発信し、市民の皆さんが「同じ食材を買うのならば地場産の物を」という気持ちを持つことで、地域の農業も活性化していくのではないのでしょうか。



2棟のハウスで野菜を栽培

ジン、ゴボウ、ひき肉を使ったレトルトカレーを考案。今年4月に夢未市などで販売し、カレーを食べた人たちからは「ゴボウ入りが珍しい」「食べやすい味だった」などの声が届いたといいます。「一生懸命に育てた野菜を食べ『おいしかった』と声が聞けた時がうれしい」と笑みを浮かべる神崎さん。「計画を立て、考えながら取り組むのが好き」。自分の野菜はもちろん、青壮年部の活動を通して市内全体の地産地消の普及も見据えています。



## ものづくりで絆を深める

あつぎ市民交流プラザで青少年フェスティバルを開催



しおり作りを楽しむ参加者たち

親子4人で参加した後、閉貴満さん（40・妻田西）は「親子で一緒に作ることで、子どもが工夫している姿を見られてうれしかった。また参加したい」と話しました。

26回目となる今回のスローガンは「楽しく作って遊ぼう」。参加者たちは、青少年指導員と市内の中学生・高校生が務めるジュニアリーダーの手ほどきを受けながら、風車や割り箸鉄砲、たこ、押し花のしおり、缶バッジなどを作りました。

物作りを通して子ども同士や親子の絆を深めてもらおうと、あつぎ市民交流プラザで「青少年フェスティバル」を開催しました。子どもや保護者約1000人が、紙や割り箸などを使った工作を楽しみました。

## 新鮮な食材が集う

荻野運動公園で夕焼け市が始まる



初日の4月12日には約600人が来場

市内で生産された野菜や加工食品を販売する夕焼け市が、荻野運動公園で始まりまし。11月1日までの毎週水曜17時から、16店舗が出店。季節に応じた採れたての農産物などを販売します。夕焼け市は、地産地消の促進や生産者と消費者の交流を目的に1999年に始まり、今年で25年目を迎えました。開催に当たり夕焼け市出店者組合の大貫浩一組合長は「昨年はコロナ禍の中でも、皆さんの協力で開催できた。今年もより多くの方に来場してもらえると嬉しい」と話しました。



## 厚木の花を多くの方に手に取ってほしい

厚木産のカーネーションを贈呈

市内では、カーネーションだけでなく、バラやシクラメンなど、多くの品種が栽培され、地域の農産物直売所などで購入できます。

贈呈は、市内で栽培されている花を多くの市民に知ってもらうために市園芸協会花き温室部会カーネーション部会が実施。贈呈に訪れた大貫亘部会長は「カーネーションは色が豊富で香りもほとんどなく、管理しやすいのが特徴。多くの人に手に取ってもらえとうれしい」と話しました。



花束を市長に手渡す大貫部会長（左）

5月14日の母の日を前に市内の花き生産者が市役所を訪れ、最盛期を迎えたカーネーションを山口貴裕市長に贈呈しました。花は市役所本庁舎の1階に飾られ、訪れる人の目を楽しませました。

## 色とりどりの花で来場者を笑顔に

緑のまつりを4年ぶりに開催

身近な場所で花や緑などの自然に触れられる「緑のまつり」を、厚木中央公園で開催しました。会場では、ステーションや花植物の即売会などを実施し、家族連れなどでにぎわいました。祭りは、1973年に始まり、46回目の今回は感染症の影響で4年ぶりの開催となりました。アルプホルン演奏をはじめ、コケ玉教室や市の花「サツキ」の展示会・苗の無料配布などを実施。ステージでは、団体によるダンスや演奏などが披露され、会場を盛り上げました。



市内産の花で彩られた会場

親子で遊びに来ていた三浦理菜さん（29・毛利台）は「市のお祭りには引越してきて初めて参加した。少しずつ日常が戻ってきたことを実感できてうれしい」と笑顔を見せました。

## 第3回 みんなで目指そう カarbonニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

### 今月の挑戦 古い家電を買い換えよう



買い換えの際は省エネ効果を表す「省エネラベル」を確認

家庭の省エネには、毎日使う家電の買い換えが効果的です。エアコンを省エネタイプに換えた場合、10年前の物と比べると、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）は年間で約50キログラム、電気代が年間約2500円削減できます。

さらに、常に稼働している冷蔵庫も効果が高く、CO<sub>2</sub>は約112キログラム、約6000円削減できます。省エネ家電への買い換えを考えてみませんか。

CNプラットフォームでは、家電買い替えの効果などをより詳しく掲載しています。

環境政策課 ☎225-2749



春キャベツとニンジン、大根、トマトにイチゴや豆腐、赤飯。日曜の朝6時、家族と一緒に厚木市民朝市の会場を歩くと、持って来た手提げ袋はすぐにいっぱいになります。市内で採れた旬の野菜などを選ぶひとときは、私の週末の楽しみの一つになっています。

早朝から温かい気持ちになり、地域の宝であり、文化だと実感しています。市内では、野菜や果物、花の栽培をはじめ、養豚、酪農と幅広い農業が営まれています。朝市だけでなく、夕焼け市、各地区にある直売所など、地元産の農畜産物を手にとれる場所が身近にあるのも厚木の魅力です。皆さんもぜひ、地元で採れたものを食卓に取り入れてみてください。私のように「今週は何を買おうかな」と、考える楽しみが増えますよ。



市民朝市は文化会館の駐車場で開催

ます。現在の出店者数は20店舗。総菜や麺類などの加工食品も人気で、市民の台所として親しまれています。店頭には並ぶ品は、市内産の物ばかり。まさに地産地消ですね。毎週多くの人でにぎわっていて、出店者の皆さんとお客さんが笑顔で言葉を交わす光景を見ると、



# タウンガイド

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 愛TV 6/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「5月の赤」  
 #5月10日撮影  
 #相模川ローズガーデン  
 #バラ  
 #niceatsugi  
 市公式インスタ  
 グラムで公開中



## 6月1日スタート

### あゆコロちゃん GENKIポイント

がん検診などの受診やウォーキング・サイクリングなどでポイントを貯め、応募すると抽選で特典が当たります。楽しみながら健康づくりに取り組みませんか。

☎健康長寿推進課 ☎225-2174

対象 市内在住在勤在学の方  
 対象期間

6月1日～2024年2月15日  
 (検診や一部のイベントは2月16日のものから対象内)

締め切り 1回目 9月30日  
 2回目 24年2月19日



温泉入浴 & 食事券などが当たる



詳細は市HPに掲載

☑6月1日から公民館や保健福祉センターなどに設置するポイントカードを応募箱に投函または郵送で〒243-8511健康長寿推進課へ。市HPからも申請可。

### 保育のしごと就職フェア

6月24日、13～16時。あつぎ市民交流プラザ。保育士が就職のアドバイス。市内の保育施設に就職を希望する・興味のある方。

#### ■イベント

6月17～23日。アミューあつぎ。市内保育施設の紹介展示。

いずれも無料。☑不要。☎保育課 ☎225-2768。

### 市民ふれあいマーケット

6月18日、9時～13時30分(雨天中止)。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を100店舗が販売。☎環境事業課 ☎225-2793。

### 教科書展示会

6月9～22日、①あつぎ市民交流プラザ=9時30分～17時②中央図書館=9～19時。2024年度から小学校で使う教科書の展示。無料。☑不要。☎教育指導課 ☎225-2660。

### 斎場施設見学会

6月21日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員

30人。無料。☑6月1～20日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。

### 少年少女消防教育

7月28日、9～16時。県総合防災センター。消防車兩乗車、放水体験など。市内在住の小学3年～中学3年生20人。無料。☑6月8～21日に直接、予防課 ☎223-9369へ。先着順。

### ななさわ整備隊

毎月第2土曜、10～15時。七沢自然ふれあいセンター。センターの手入れ、看板作りなど。市内在住在勤在学の18歳以上10人。100円(保険料)。☑各回開催日の7日前までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500へ。先着順。



### 高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)購入費助成

神奈中グループの一般路線バスの全区間を1回100円(深夜バスは200円)で利用できる割引乗車券(1年分)の購入費用を助成します。

《対象》4月1日現在、市内に住民登録があり、2024年3月31日までに70歳以上になる方《助成額》4800円(自己負担額6000円)。☑不要。対象者には通知を郵送。☎地域包括ケア推進課 ☎225-2224。

日程	場所
6月20日	依知北・睦合北公民館
21日	小鮎・相川公民館
22日	睦合南・緑ヶ丘公民館
23日	上荻野分館・玉川公民館
26日	南毛利・睦合西公民館
27日	森の里・依知南公民館
28日	荻野公民館
29日	老人福祉センター寿荘
30日	老人福祉センター寿荘・愛甲公民館
7月1日～8月31日	神奈中本厚木駅前サービスセンター

### 夏休みボランティア体験の参加者を募集

福祉や子育て、美化活動などのボランティアを体験してみませんか。

《対象》市内在住在学の中学生以上の学生。☑市民協働推進課や公民館、中学校、市HPなどにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで6月30日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課

☎225-2141・☎221-0260・☎2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 各保険料の納入通知書を6月中旬に発送

#### ■国民健康保険料

会社などの健康保険に加入した方は、国民健康保険の脱退手続きをしてください。☎国保年金課 ☎225-2123。

#### ■介護保険料

年金受給額が年額18万円以上の方(特別徴収) = 年金の定期支払いの際に差し引き(老齢福祉年金を除く)。年金受給額が年額18万円未満の方(普通徴収) = 納付書または口座振替で納付、年度途中の転入や65歳になった場合などは、特別徴収に切り替わるまで普通徴収。☎介護福祉課 ☎225-2393。

### 光化学スモッグに注意

光化学スモッグ注意報が発令されたときは、防災無線の放送やメールマガジンなどでお知らせします。☎生活環境課 ☎225-2752。

### 6月1日は「景観の日」

色彩に関するルールを守り、より良い景観をつくりましょう。☎都市計画課 ☎225-2401。

### 全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達試験

Jアラートの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

日時 6月7日 11時～

※気象状況により中止の場合あり。

☎危機管理課 ☎225-2190

#### 参加者募集

### 応急手当普及員再講習会



救急医療では、現場にいる人の行動が重要です。いざという時に備えて、応急手当やAEDの使い方など知識・技能を再確認できます。

《日時》6月21日 9～12時

《場所》消防本部

《内容》応急手当普及員の更新や技能の維持・向上のための講習

《対象》有効期限(3年)以内で市内在住在勤在学の普及員30人

《費用》3960円(テキスト代)

☑6月1～9日に救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。

### ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集  
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

### 5月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆鳥の飛び立つ瞬間などの美しい写真が収められています。◆30代女性 ◆住んでいる地域の近くに雨水貯留管が整備され、不安が和らいだ。◆60代男性 ◆手術支援ロボットの利用に不安を感じていたが負担が少ないと分かり安心した。◆70代男性 ◆企業に親近感が湧き、応援したくなった。◆40代女性 ◆イベントが徐々に開催されてうれしい。鮎まつりも楽しみ。◆50代女性

### 編集後記

取材で養豚場とトマトハウスに行き、実際に農家さんたちが仕事をする姿を見ました。普段何げなく食べている肉や野菜、米などの食材は、生産者の努力や苦労があってこそ食卓に並ぶもので、色んな思いが込められているのだと肌で感じられました。厚木には多くの農産物があります。紙面を読んだ方が「ちょっと地場産の物を買ってみようかな」と地元食材を手取るきっかけになればうれしいです。森





### 今ある緑を 未来に

# 6月は環境月間

住みよい地域を未来につなぐには、皆さんの一つ一つの行動が大切です。できることから始めてみませんか。

☎環境政策課 ☎225-2749

### 里地里山の保全活動

里地里山は、奥山と都市の間にある集落と農地・水路・草原などがある地域です。人の手が入ることで保たれる里地里山は、生活の変化や人口減少、高齢化などで利用が減り、その姿が失われ始めています。

#### ■活動に参加

市内では、稲作・畑作・下草刈り・間伐・自然観察などの活動をする団体が八つあります。加入の相談は環境政策課へ。

団体の活動内容の詳細はこちら



人の手が入らないと

- ・山林、農地、水路などの自然環境の荒廃
- ・生物の生息域の消滅と生物種の減少
- ・崖崩れや洪水被害の拡大など



### 食品ロスを削減

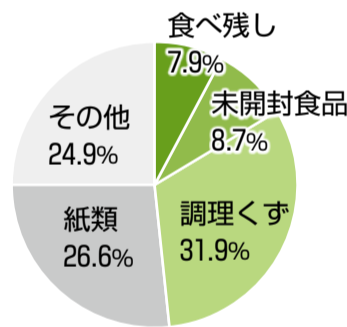
家庭系ごみには、食べ残しや未開封食品が15%以上含まれています。少しの工夫でごみは減らせます。

#### ■てまえどり

すぐ食べる時は陳列棚の手前にある商品を取り、廃棄される食材を減らしましょう。



家庭系もえるごみの割合 (2019~22年)



### 生ごみの減量に向けた「3つのキリ」を実践

#### ◆使いキリ

- ・食材などは使い切れるだけ買う
- ・冷蔵庫の中身をチェックしてから買い物へ

#### ◆食べキリ

- ・必要な量だけ作り、残さず食べる
- ・外食や宅配は食べきれないだけ頼む

#### ◆水キリ

- ・野菜くずはできるだけ濡らさず、捨てる前に水をしっかり絞る

☎環境事業課 ☎225-2793

## 30周年 自然歳時記

### ●モンキチョウ● シロチョウ科

モンキチョウとキチョウは似ているが縁取りのある紋で見分ける。開いた羽は約50<sup>mm</sup>。シロツメクサなどのマメ科植物に産卵し幼虫やさなぎで越冬する。雄は黄色く雌は白か黄／若宮公園で見つけた。 写真・文／吉田文雄



梅雨の晴れ間の青空に、美しいチョウが舞っているのを見かけた。実に優雅に楽しそうに飛んでいるが、目的は食料となる花や産卵のための食草、そして雄は雌を探すことだ。

シロツメクサのある芝生で休んでいると、羽の白いモンキチョウが飛んで来て葉に産卵して飛び去った。

するとすぐに雄のチョウが追いかけるように飛んで行った。これは求愛活動で見た目は楽しげに見えるが真剣そのものである。しばらくして産卵場所に行くとシロツメクサに1ミリの卵が産み付けられていた。

人や鳥の憩いの場である若宮公園は昆虫たちの憩いの場でもある。

厚木市の人口  
(5月1日現在)

🏠 世帯数

10万4434世帯 (前月比358世帯増)

👤 人口

22万4129人 (前月比314人増) 男11万5416人・女10万8713人